

ハッピー通信



2025年4月8日発行
25-15号

現場から（最近のニュースから）

不確実な中で

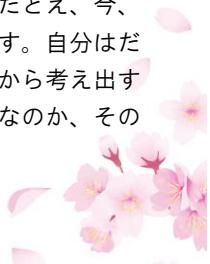


4月になりました。進級、進学、入社、移動など、新しい環境に飛び込み、日々緊張と不安を抱えている人も多いでしょう。また、世界を見ると、トランプ大統領の政策により世界中の経済が荒れていて、各地の戦争はおさまらず、大きな災害もあちこちで起こっています。今も未来も不確実な中で、どのようにしたら良いのかという記事がありました。

記事では、まず「私たちの物語を形づくる力は、私たちが直面する状況ではなく、私たちがそれにはどう対処するかを選択することのなかにある」と言われています。私たちが、他責や絶望にとどまることをやめ、「自分の物語を所有すること」を追求するとき、私たちは自分の人生のコントロールを取り戻し、パーパス（人生の目的）、レジリエンス（回復力）、希望に基づいて物語を紡ぎ出すようになるということです。私たちは、自分を取り巻く環境や状況を自分で変えることはできないと感じると、無気力になるのですが、どんなに外部の力が強くても、自分の反応は選ぶことができると気づくとき、変化が始まるということです。

また、もう少し具体的に、自分の方向を修正するために「パーパス（人生の目的）」に焦点を合わせ、自分の人生に価値と意味があることを確認すると、混乱に耐える基礎を築くことができると言われます。また、「希望」については、困難から目を背けるのではなく、良い結果は可能だと信じて努力すると成長の機会になると言われます。「自分の物語を持つ」ことで、受動から能動に切り替えると、自信が生まれるということです。そして、自分の原動力は何か、何によって達成感を得るのかを見て自分の戦略を考え、自分ではどうしようもない外部要因ではなく、小さなことでも「自分がコントロールできることに集中」し、逆境を見る目を行き止まりではなく、予期せぬ展開だとらえ、感謝をもってポジティブに思い描くことによって、支え応援してくれる人が集まるようにするということです。また、ひとりではなく、仲間や尊敬する人とともにいれば、回復力が増すということです。パーパス、希望、行為主体性は、ぜいたく品ではない。変化を続けるこの世界を進んでいくための必需品なのだと記事は結んでありました。（3月22日Forbes JAPAN<不確実なことばかりでも「絶望に流されず」自分の人生のコントロールを取り戻す方法>より）

たしかに、自分がだれなのか、何のために生きるのか、そして、今のこととは未来への土台なのだと確信できるなら、どんなに外部が変化しても、その中で生き抜くことはできるでしょう。しかし、自分からそのように確信して勝ち抜く力を持てるほど、人間は強くありません。たとえ、今、それを自分が持つことができたとしても、人生は長いので、いつかは崩れてしまいます。自分はだれなのか、何のために生きるのか、そして、確実な未来は何なのか、このことを自分から考え出すのではなく、確実な証拠を持って確信する道があります。いったい人間はどんな存在なのか、そのことからいっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれています。隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出しができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(I ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」